

# Living the LOTUS

Buddhism in Everyday Life



VOL. 164

開祖随感

## 心の奥底の求め

アルコール依存症の人や拒食症の少女などを見ると、「こうなっては、とても自分たちの手には負えない」と思ってしまいますが、そうして周囲を拒絶している人も、「私は弱い人間なんだから、しっかり抱いてほしい」と、体で愛を求めているのだと専門の先生からうかがったことがあります。

仏さまは「衆生の<sup>じんしん</sup>深心の所行を知って、<sup>つうだつむげ</sup>通達無礙なり」とおっしゃられます。人は、言ったりやったりすることと、心の深いところで求めているものが違っていることがしばしばあるのです。みなさんも人に優しくしたいと思いながら、つい<sup>じゃけん</sup>邪険にしたり、善いこ

とをしなくてはと思いながら、怠け心に引きずられることがあるのではないのでしょうか。

とんでもない悪事をおかしてしまう人でも、良心のかけらもないという人はいません。いけないことだと知りながら心ならずも悪に引き込まれて苦しんでいる、その奥底の心を見ようとせずに、表面の言動だけで人を裁いてはならないのです。

まず自分自身の心を深く見つめることができなくては、人と<sup>どうひ</sup>苦しみを共にする同悲は生まれません。その慈悲がなくては、人は救えないのです。

(『開祖随感』9, p. 36-37)

### Living the Lotus 2019年5月号 (Vol.164)

【発行】立正佼成会 国際伝道部

〒166-8537 東京都杉並区和田2-7-1  
普門メディアセンター3F

Tel: 03-5341-1124

Fax: 03-5341-1224

E-mail: [living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp](mailto:living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp)

編集責任者: 齋藤高市

編集チーフ: 鈴木健祐

校閲者: 竹谷祐市郎、小坂和正、菊池克之

編集スタッフ: 国際伝道部スタッフ

立正佼成会は1938年に庭野日敬開祖、長沼妙佼協祖によって創立された、法華三部経を所依の經典とする在家仏教教団です。家庭や職場、地域社会の中で釈尊の教えを生かし、平和な世界を築いていきたいと願う人々の集まりです。現在は庭野日鏡会長とともに、私たち会員は仏教徒として布教伝道に励みながら、宗教界をはじめ各界の人々と手をたずさえ、国内外でさまざまな平和活動に取り組んでいます。

Living the Lotus—Buddhism in Everyday Life(法華経を生きる～生活の中の仏教)というタイトルには、日々の生活のなかに法華経の教えを活かして、泥水に咲く美しい蓮の花のように、人生を豊かに、そしてより価値あるものにしていきたいとの願いが込められています。本誌を通じて、世界中の人々に日々の生活のなかで活かす仏教の教えをお伝えします。

# なぜ、苦しみが絶えないのか

立正佼成会会長 庭野日鏡



## 「苦」と「苦しみ」の違い

大きな苦しみをかかえたり、苦勞を重ねたりすることを「四苦八苦する」などといいますが、この「四苦八苦」が仏教の言葉であることはよく知られています。

この世に生まれ、老い、病んで、やがて死を迎える。この「生・老・病・死」が「四苦」で、それに、「愛するものと別れる苦（愛別離苦）」、「憎い人やいやなものに会う苦（怨憎会苦）」、「求めるものが得られない苦（求不得苦）」と、それら全体をまとめて表現した「身心のはたらきによって生ずる苦（五蘊盛苦）」を加えた「八苦」が、人間が背負っている「苦」と教えています。

釈尊はしかし、この「苦」を、いま私たちが一般的に使う「苦しく、つらいこと」という意味で示されたわけではなさそうです。「苦」の語源は「思いどおりにならないこと」を意味する「ドゥッカ」という言葉ですから、先の八苦はどれも、「自分にはどうすることもできないこと」を示しています。ところが、それを「なんとかしたい」と望み、そのことにとらわれて諦めきれないと、心に「いやだ」とか「つらい」といった感情が起こってきます。そのとき「苦」は、身心を苛む「苦しみ」に変わるのであるのです。

このような苦しみの絶えない人間の様子を、法華経では「生死の險道に入つて 相續して苦断えず 深く五欲に著すること 犍牛の尾を愛するが如し」（方便品）といっています。「欲にとらわれているから、苦しみが絶えない」と説き、さらには「深く諸の邪見に入つて 苦を以て苦を捨てんと欲す」とあるように、思いどおりにならない事実を受け入れることができないために苛立ち、あくせくして、苦しみを深くする私たちの心のありようを戒めるのです。





## 「苦」は「智慧」の湧く泉

私たちのまわりでも、たとえば借金返済の苦しみから逃れようとして、さらによそから借金を重ねる、といった人の話を耳にします。まさに「苦を以て苦を捨てんと欲す」で、それではいつまでたっても苦しみはなくなりません。

西行法師<sup>さいぎょうほっし</sup>は「こりもせざうき世の闇<sup>やみ</sup>にまよふかな身を思はぬは心なりけり」と嘆き、欲望にとらわれ、ふりまわされて苦しむ私たちに、「どうしていつまでも大事なことに気づかず、心を改めないのだろう」と投げかけています。

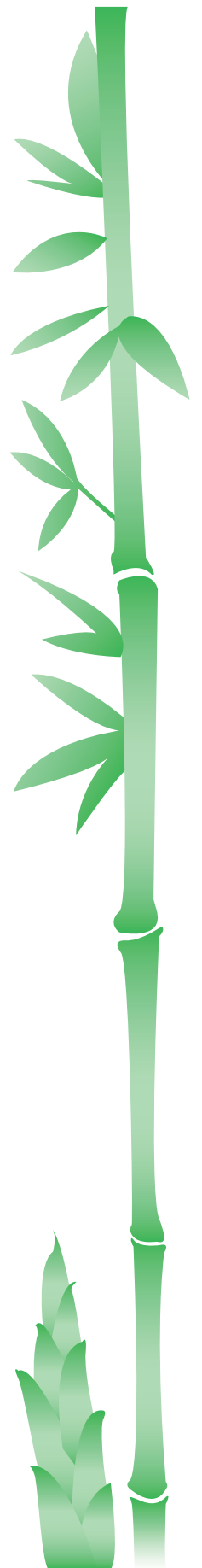
その大事なことは、直面した「苦」を「苦しみ」へと増長させるのではなく、「苦」との出会いは「智慧」<sup>ちえ</sup>に目ざめるチャンスでもあると気づくことです。苦しみや悲しみ、怒りやつらさにもつながる「苦」も、そこに感情をまじえなければ「無<sup>む</sup>き記」、つまり善でも悪でもないのですから、それをどのように受けとめ、制御するかで、その後の人生に大きな違いが生まれてきます。

前にもご紹介した話ですが、ある方は数千万円の借金を背負うなかで、「この苦しみは、私に必要あって与えられた試練」と受けとめ、「そう考えると、この状況が苦しみではなく、楽しみともなる」と爽やかにいわれました。

「苦」から逃げずに、それをそのまま受け入れる覚悟ができると、その「苦」は「智慧」の湧き出る泉ともなります。私たちが本来もっている「智慧」がはたらきだすには「苦」が必要だったと受けとれば、「苦」は楽しみに向かう大切な道しるべとなり、その「苦」も抜き去られるのです。

これが、「苦」があっても苦しまない生き方といえるでしょう。そしてそのことを、仏教では四諦<sup>したい</sup>の法門など数々の教えで伝えていきます。ただ、それらを学んでも、私たちはいざ苦に出会うと悩み苦しむのですが、それでもいいと思うのです。苦しい思いをしなければ、仏さまの教えという「幸せにつながる道」を歩んでいないかもしれないのですから。

(『佼成』2019年5月号)







## 私の人生を変えた「心の修行」

ハワイ教会  
ローラ・メヤ

この体験説法は、今年の3月4日に大聖堂で行なわれた開祖さまご命日式典で発表されたものです。

皆さま、お願い致します。

私はローラ・メヤと申します。フィリピン人の父と日本人の母の長女として日本で生まれました。母は私がお腹にいるとき、佼成会に入会しました。父は軍の船舶の乗組員で世界中を回り、家にいるのは年に1～2度だけでした。

幼い頃の記憶といえば、私が2歳の時、1歳の妹をおぶって、1階の大きな窓から外に飛び降りたことです。窓の方を振り返ったときに見たのは、母に銃を向けている父の姿でした。父はいつもお酒臭く、母とよくケンカをしていました。そんなとき、私はいつも裸足のまま窓から逃げ出し、隣の家に助けを求めていました。

幼稚園では、名前がローラのため最初はいじめられました。すぐに友達がたくさんできました。アメリカ国籍のため小学校はアメリカンスクールに通いましたが、日本語しか話せず、ここでもよくいじめられました。しかし、すぐに友達が英語の勉強を助けてくれるようになりました。

小学生の頃は、「私はアメリカ人なのか日本人なのか」「両親が離婚したらどうなるのか」「なぜこんな両親のもとに生まれてしまったのか」と、子ども心にいろいろな悩みを抱えたまま、答えを見つけられずにいました。

17歳の時、父の退職を機に、ハワイに引っ越すことになりました。初めて父と一緒に暮らす日々は、奇妙で居心地が悪く、不安なものでした。

18歳の時、私は一人暮らしを始めました。20歳になると、日本に帰りたいと真剣に考え始め、日本に戻

るためのアドバイスを求めて、一人で立正佼成会ハワイ教会を訪ねました。

増田修一教会長さんは私を温かく迎えてくださいました。私はとても安らかな気持ちになり、すぐに自分の悩みを聞いていただきました。教会長さんは私の話をただ黙って聴いてくださり、それだけで不思議と気持ちが和らぐのを感じました。教会長さんは一冊の本を私にくださり、一章ごとに読み終わったら教会に来るように仰いました。それは、開祖さまの『法華経の新しい解釈』でした。私は毎日わくわくしながら読むだけで教会に行き、ご著書の内容について教会長さんとお話をしました。私にとって、この「授業」はとても楽しい時間でした。教会長さんは「人生は苦であり、苦があるからこそ、自分を向上させることができる」と教えてくださいました。最後の授業の後も、教えをもっと学びたかった私は教会に通い続けました。

その頃、私の胸は教えを学ぶ喜びで高鳴っていました。ハワイ教会での修行は、いつもカク・キョウコ地区長さんと一緒でした。毎日法座に参加し、信者さん



大聖堂で説法するメヤ教会長

たちの体験を聞かせていただくなかで、問題を抱えているのは自分だけではないことや、人生には様々な苦があり、問題の原因に気づくためには自分自身を変え、ものの見方を変えなければならないことを教えていただきました。どうしたらものの見方を変えられるのかを知りたくて、私は信者さんがいただくご指導を自分のこととして受け止めました。法座を通して気づいたのは「ものの見方を変えれば、自分を取り巻くマイナスの状況がプラスに転じる」ということでした。法座での結びに目が開かれる思いでした。私の学びは「他人を変えるのは難しい。しかし、自分自身を変えるのは、その気になれば簡単にできる」ということでした。半年ほど過ぎた頃から手どり修行が始まり、カク地区長さんと一緒にたくさんのお宅を訪問させていただきました。訪問を喜んでくださる方がいる一方で、迷惑に思われる方もいました。あるお宅ではおいしいお茶をいただき、別のお宅では汚れた器でお茶を出されました。それでも地区長さんは「感謝して笑顔でいただきなさい」と、いつも仰っていました。手どり修行を通して、与えられた状況を感謝で受け止めることの大切さを学びました。物事を良し悪しで判断しがちだった自分の姿に気づくことができ、私にとって素晴らしい修行となりました。

地区長さんはいつも「昨日起きたことはもういいの。今日何をすることが大切なのよ」と私に話してくださいました。私はこの言葉が大好きで、今日という日をいつも「良いことができた」と確信できる一日にしようと思いました。また、「あなたにはできないことはないの。だから、一緒に心の修行を始めましょう」と声をかけてくださいました。心の修行とは日々の修行に他なりません。教会での修行は毎日ほとんど同じ実践の繰り返しでしたが、私の心は毎日変化していきました。その心の変化に気づけたことは、私自身驚きでした。それまでは困ったことがあると、私は自分のことは棚に上げたまま、他人のせいにしてばかりいたのですが、このときから、自分を幸せにできるのは自分自身なのだと思え、受け止められるようになったのです。

その後、私はお導き修行を始め、仏さまに「毎週教会に新しい人を連れてきます」と誓願しました。実際にお導きをすることで私の人生は変わりました。私にも困っている人の助けになれることが分かったからです。私は毎日仏さまに念じました。すると仏さまも私の願いに答えてくださり、たくさんの方々をお導きすることができました。「人さまをお救いしたい」と思うと、心の中に慈悲心が芽生え、他人の苦しみを理解することで、自分にも良い心が具わっていることに気づけたのです。

ここで、私が長男のことで苦を抱えていたとき、教会サンガの皆さんが私に手を差し伸べ、支えてくださったことに感謝を申し上げたいと思います。長男との関わりを通して、私自身が母親として、そして人として向上すべきことの大切さを学びました。それはまた、私自身が両親にとってもつらい思いをさせていたことや、長男や両親を自分の思い通りに変えようとしていたことに気づかされる機会でもありました。私の両親は互いに良き伴侶になろうと努力をし、父は家族のために精一杯働き、母は家族を一つにするために頑張ってくれていました。私のような娘を生み育て、見放すこともせず、仏さまのご縁を作ってくださいました両親に感謝致します。そして誰よりも、私は仏さまと開祖さまに感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。仏さまに手を合わせることで、私は一歩を踏み出す勇気をいただきました。仏さまは私に、内なる力を信じる眼を与えてくださいました。それは、目の前の問題から逃げたり、人を非難したりせず、問題を受け入れ、乗り越えようとする力です。

現在、私は会長先生からハワイ教会長のお役をいただいています。ハワイ教会のサンガはアロハの精神に満ち溢れています。アロハとは「全てを受け入れ、愛と思いやりで人に接するところ」を表現する挨拶です。ハワイ教会の信者さんは、あらゆる人々を心温かく迎え入れ、笑い声の絶えない道場には、子どもたちが元気に駆け回っています。

ハワイ教会は、半分が英語、半分が日本語を母国語とする会員さんたちで構成され、たくさんのグループに分かれて活動しています。会長先生の毎月のご



# Spiritual Journey

法話を拝読し、日々の実践目標にしています。勉強会では、ご法話の研鑽を通して教えの理解を深めています。教会活動には、手どり、導き、法座、先祖供養などがあります。英語会員の多くは、毎月自らのいのちへの感謝の供養を行なっています。壮年部は毎日の自宅での経典読誦を中心に、毎月一回、教会での夜間読誦修行も始めています。

また、英語と日本語の両方で、母親を対象に家庭教育講座を毎月開催しています。言葉や文化が違って、親の子どもへの愛情に変わりはありません。講座を通じて、多くの会員さんが親としてのあり方を学び、また自分たちの両親との関係についても学びを深めています。講座には、お父さんたちも参加しています。参加者は子どものニーズに対して、柔軟に自信を持って対応できるようになりました。子どもの成長の仕方は一人ひとり違いますし、同じである必要もありません。参加された会員さんたちが、親子関係の基盤が家庭で作られることを学ぶことで、今後もアメリカの人々のより良い家庭作りに向けて、大きな役割を担っていくものと信じています。

小さな島々に文化の異なる人々が共存し生活しているハワイは、「人種のるつぼ」と呼ばれています。私たちは異なる文化、背景、言語を持っていますが、お互いの違いを受け入れることで、様々な問題を乗り越えてきました。ハワイ教会の礎を築かれた先輩の信者さんたちは、ご法と開祖さまへの深い信仰心を胸

に、ハワイの地に教えを弘めてくださいました。そして今、ご法の灯は5代目に引き継がれています。

かつて長男のことで苦しんでいたとき、教会サンガの皆さんは私をずっと励まし、支え続けてくださいました。同じように、今度は私が子どもさんのことで悩んでいる友人を救ってあげたいと思い、彼女への手どりを始めました。娘さんから反抗的な態度を取られることで、彼女は親としてとてもつらく悲しい思いをしていました。私と一緒に修行しながら、彼女はなんとか娘の気持ちを理解し、受け止めようと努力しました。私たちは、仏さまの智慧に基づいて、物事を別の見方から捉えていこうと、共に学び、実践しました。すると、数ヶ月後には、彼女は娘さんの本当の気持ちを掴めるようになり、娘さんの反抗的な態度は、もっと自分に目を向けてほしいという願いの表れだったことに気づいたのでした。そのとき、全てが変わり、二人の新たな親子関係が始まりました。今、彼女はご法で周りの人を支え、手どりや導きに精進しています。私はこれからも「まず人さま」の気持ちを忘れず、しっかりと教えの実践を続けてまいります。

今月、ハワイ教会は発足60周年のお祝いを迎えます。先輩の信者さんたちが経験された試練や苦勞を忘れることなく、会員一同が力を合わせ、61年目に向け慈悲心を発し、心新たに精進をさせていただくことをお誓い申し上げます。

皆さま、ありがとうございました。



3月に行なわれたハワイ教会発足60周年記念式典の参加者

**Living the**  
 **LOTUS**

# 法華三部經

## 各品のあらましと要点

### 妙法蓮華經

#### 化城諭品第七 (2)

#### 人生の意義を知れ

この譬えの表面の意味は、前に説かれた〈三車さんしゃ火宅の譬え〉や〈長者窮子の譬え〉と同じで、〈仏の教えはただ一仏乗いちぶつじょう〉ということと〈方便もまた眞実〉という二大原理にほかなりませんが、単なる繰り返しとは違ったニュアンス(微妙な意味合い)が含まれています。どんなニュアンスかといえ、ここには〈創造あつての生きがい〉という教えが暗示され、それに向かつて再出発しよう—という激励の気持がこめられているのです。

長い険しい道というのは、われわれの人生の旅路をあらわしています。その旅路の途中では、つらいことや苦しいことが次つぎに起こります。だれでも、それを克服しようと努力するのですが、なかなか思うようにゆきません。すると、たいていの人があきらめをもつようになります。

普通ならば、「あがいてみてもしようがないから、なんとか苦しみと苦しみのあいだをすり抜けながら、できるだけ楽しく一生を送ろう」などと、消極的な考え方に陥るでしょう。すなわち、進歩への努力をあきらめ、安易な生活態度へ逃避してしまうのです。一方、道徳観念の薄い人なら、「どんなことでもして、太く短く一生を送ろう」と考え、悪の世界へ踏み込んでしまうこともありましょう。

その両方とも、人生のほんとうの意義を見失った人たちです。なぜなら、たえず進歩していくのが人間としての自然の道であり、正しい生き方であるか

らです。それなのに、人生苦に負けて、その自然の道、正しい生き方を忘れ、途中で立ち止まったり、後へ引き返そうとするのは、人間としての価値をみずから投げ捨てることになるのです。

#### 安らかな人生のために

そこでお釈迦さまは、そういう人たちのために一ちよつと待ちなさい。こうすれば、苦しみも悩みもない安らかな人生が送れるのだよ—と、一つの境地を教えてくださいました。

それは、「目の前にあらわれているいろいろな現象は仮のあらわれにすぎないのだから、それにとらわれて心を振り回されないようにすれば、常に安らかな心境におられるのだ」という教えです。一口でいえば、〈現象に振り回されるな〉ということです。

まことにすばらしい教えで、だれの心にも、「なるほど。そういうものの見方に徹すれば、これから先は安らかな人生が送れそうだ」という希望が湧いてきます。この譬え話の中のリーダーが、ゆくてに大きな城をあらわして、「あそこまで進んで休みなさい」といったのは、こういう境地であり、こういう意味にほかならないのです。

#### 創造と調和の生活

ところが、その心境に達してホッとしていると、リーダーはやがてその城を消してしまい、「もう少し先に、ほんとうの人間らしい生き方があるのだよ」と、



究極の理想を示しました。人びとは、一時はびっくりしましたが、すぐに気を取り直して、新たな前進を始めたのでした。

それでは、その〈ほんとうの人間らしい生き方〉とはなんでしょう。それは〈創造と調和の生活〉ということなのです。

先に、人びとは、人生苦から逃れるためには現象に振り回されるなど教えられ、なんとかその境地に達して心の安らぎを得ました。しかし、その境地も、まだ悟りに達する途中の段階にすぎません。なぜならば、自分たち仏道修行者だけは幸い人生苦から逃れることができても、世間の大勢の人たちは相変わらず苦しみの中にいるのです。それを横目に見ながら、自分たちだけが安らかな境地にいるのは、これまた一種の逃避であり、独善的な利己主義です。ですから、まだまだほんとうの悟りとはいえないわけです。みんなと一緒に苦しみながら、みんなと一緒にしあわせになるように努力することこそ、ほんとうの人間らしい生き方なのです。そこで、一度はホッとしたものの、その気持をかなぐり捨て、幻の城を出て、新しい苦勞の道へ踏み出さなければならぬのです。

しかし、その苦勞の道は、前にたどっていた苦勞の道と同じ道のように見えても、苦勞の次元がまったく違うのです。従って、その価値にも天地ほどの違いがあるのです。なぜならば、これからの苦勞は、人をしあわせにする菩薩の苦勞だからです。

また、苦勞しながら物事を創造していくことこそ人生の意義であることを悟り、その苦勞を楽しむ境地にまで、心が高まっているからです。

こうして、人生の旅人であるわれわれ一人一人が、自分の性格に応じ、才能に応じ、職業に応じ



て、「自分をも、他人をも、世の中全体をも、しあわせにする物事」をたえず創造していけば、それらの創造のはたらきは、必ず大きなところで一種の調和をつくりだすものです。そのような創造と調和の状態こそが、人類究極の理想のすがた(この上ない宝物)なのです。

## 十二因縁と結願の文

この品には、この〈化城宝処の譬え〉のほかに、注目すべき教えがいろいろあります。中でも、ここで〈十二因縁〉の教えを再び取り上げておられることと、もろもろの梵天王の唱えた偈の中に〈願わくは此の功德を以て 普く一切に及ぼし 我等と衆生と皆共に仏道を成ぜん〉という、多くの仏教信者がお勤めの結びに唱える大切なお経文があることなど、忘れてならないことだと思います。

(庭野日敬著『法華三部経 各品のあらましと要点』  
 佼成出版社, 2016年 [初版 1991年], p. 81-86)

## 「幸せにつながる道」を歩む

すがすがしい季節となりました。暦の上では初夏ですから、夏の始まりでもありますね！そして、5月は母の日もあります。いのちを授けてくださったお母さんへの感謝を表す時でもあります。

毎年恒例の「青年の日」は、今年 50 周年を迎えます。開祖さまはいつも、青年に期待を寄せてくださっていました。行動するものが進化するのだと。常に燃え上がって行動してほしいと願われていました。今をイキイキと生きる時、年齢に関係なく私たちは皆、青年です。

今月の会長先生のご法話では、「欲にとらわれているから、苦しみが絶えない」と学ばせていただきました。思いどおりにならない「苦」をそのまま受け入れることによって、「智慧」を授かるのです。

蓮の花の如く、「苦」を心の栄養にして自らを進化させていくためにも、世のため・人のためにわが身を使わせていただきましょう！

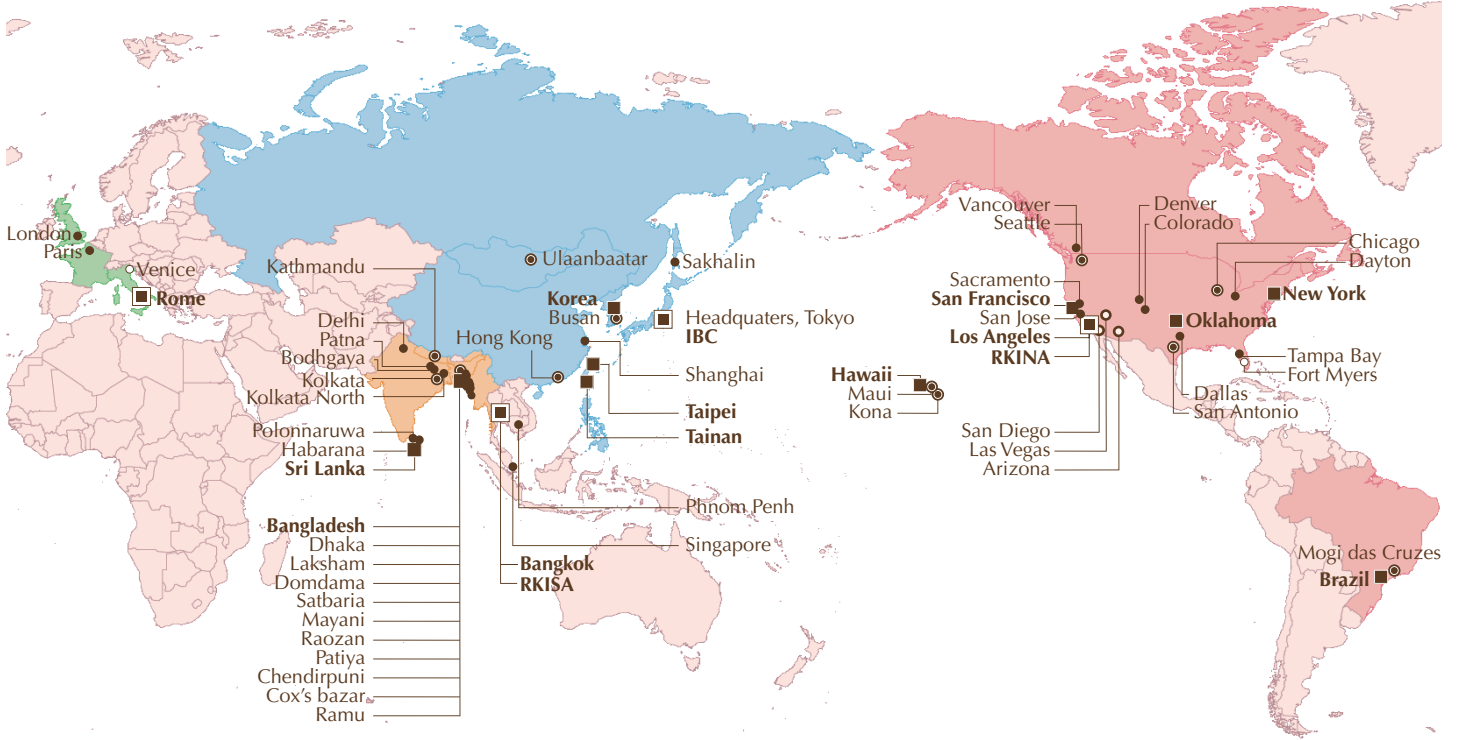
国際伝道部長

齋藤 高市



✉ Living the Lotus では、皆様のご意見・ご感想を募集しています。  
お問い合わせは、以下の E メールアドレスにお願い致します。  
E メール : [living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp](mailto:living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp)

# Rissho Kosei-kai: A Global Buddhist Movement



## Rissho Kosei-kai International

Fumon Media Center 3F, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo, Japan  
 Tel: 81-3-5341-1124 Fax: 81-3-5341-1224  
 e-mail: living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp

## Rissho Kosei-kai International of North America (RKINA)

2707 East First Street, Suite #1, Los Angeles, CA 90033, U.S.A.  
 Tel: 1-323-262-4430 Fax: 1-323-262-4437  
 e-mail: info@rkina.org <http://www.rkina.org>

### Branch under RKINA

#### Rissho Kosei-kai of Seattle's Buddhist Learning Center

28621 Pacific Highway South, Federal Way, WA 98003 U.S.A.  
 Tel: 1-253-945-0024 Fax: 1-253-945-0261  
 e-mail: rkseattlewashington@gmail.com  
<http://buddhistlearningcenter.org/>

#### Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Antonio

6083 Babcock Road, San Antonio, TX 78240, U.S.A.  
 P.O. Box 692148, San Antonio, TX 78269, U.S.A.  
 Tel: 1-210-561-7991 Fax: 1-210-696-7745  
 e-mail: dharmasanantonio@gmail.com  
<http://www.rkina.org/sanantonio.html>

#### Rissho Kosei-kai of Tampa Bay

2470 Nursery Road, Clearwater, FL 33764, U.S.A.  
 Tel: (727) 560-2927 e-mail: rktampabay@yahoo.com  
<http://www.buddhismtampabay.org/>

#### Rissho Kosei-kai of Vancouver

#### Rissho Kosei-kai Buddhist Church of Hawaii

2280 Auhuhu Street, Pearl City, HI 96782, U.S.A.  
 Tel: 1-808-455-3212 Fax: 1-808-455-4633  
 e-mail: info@rkhawaii.org <http://www.rkhawaii.org>

#### Rissho Kosei-kai Maui Dharma Center

1817 Nani Street, Wailuku, HI 96793, U.S.A.  
 Tel: 1-808-242-6175 Fax: 1-808-244-4625

#### Rissho Kosei-kai Kona Dharma Center

73-4592 Mamalahoa Highway, Kailua-Kona, HI 96740 U.S.A.  
 Tel: 1-808-325-0015 Fax: 1-808-333-5537

#### Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

2707 East First Street, Los Angeles, CA 90033, U.S.A.  
 Tel: 1-323-269-4741 Fax: 1-323-269-4567  
 e-mail: rk-la@sbcglobal.net <http://www.rkina.org/losangeles.html>

## Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Arizona

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Colorado  
 Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Diego  
 Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Las Vegas  
 Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Dallas

## Rissho Kosei-kai of San Francisco

1031 Valencia Way, Pacifica, CA 94044, U.S.A.  
 Tel: 1-650-359-6951 Fax: 1-650-359-6437  
 e-mail: info@rksf.org <http://www.rksf.org>

## Rissho Kosei-kai of Sacramento

## Rissho Kosei-kai of San Jose

## Rissho Kosei-kai of New York

320 East 39th Street, New York, NY 10016 U.S.A.  
 Tel: 1-212-867-5677 Fax: 1-212-697-6499  
 e-mail: rkny39@gmail.com <http://rk-ny.org/>

## Rissho Kosei-kai of Chicago

1 West Euclid Ave., Mt. Prospect, IL 60056 U.S.A.  
 Tel: 1-773-842-5654 e-mail: murakami4838@aol.com  
<http://rkchi.org/>

## Rissho Kosei-kai of Fort Myers

<http://www.rkftmyersbuddhism.org/>

## Rissho Kosei-kai Dharma Center of Oklahoma

2745 N.W. 40th Street, Oklahoma City, OK 73112 U.S.A.  
 Tel: 1-405-943-5030 Fax: 1-405-943-5303  
 e-mail: rkokdc@gmail.com <http://www.rkok-dharmacenter.org>

## Rissho Kosei-kai Dharma Center of Denver

1255 Galapago Street, #809 Denver, CO 80204 U.S.A.  
 Tel: 1-303-446-0792

## Rissho Kosei-kai Dharma Center of Dayton

425 Patterson Road, Dayton, OH 45419 U.S.A.  
<http://www.rkina-dayton.com/>

## Rissho Kosei-kai do Brasil

Rua Dr. José Estefno 40, Vila Mariana, São Paulo-SP,  
 CEP 04116-060 Brasil  
 Tel: 55-11-5549-4446 / 55-11-5573-8377 Fax: 55-11-5549-4304  
 e-mail: rissho@terra.com.br <http://www.rkk.org.br>

## Rissho Kosei-kai de Mogi das Cruzes

Av. Ipiranga 1575-Ap 1, Mogi das Cruzes-SP,  
 CEP 08730-000 Brasil  
 Tel: 55-11-5549-4446 / 55-11-5573-8377



**Rissho Kosei-kai of Taipei**

4F, No. 10 Hengyang Road, Zhongjheng District,  
Taipei City 100, Taiwan

Tel: 886-2-2381-1632 Fax: 886-2-2331-3433  
<http://kosei-kai.blogspot.com/>

**Rissho Kosei-kai of Tainan**

No. 45, Chongming 23rd Street, East District,  
Tainan City 701, Taiwan

Tel: 886-6-289-1478 Fax: 886-6-289-1488

**Korean Rissho Kosei-kai**

6-3, 8 gil Hannamdaero Yongsan gu, Seoul, 04420,  
Republic of Korea

Tel: 82-2-796-5571 Fax: 82-2-796-1696  
*e-mail:* krkk1125@hotmail.com

**Korean Rissho Kosei-kai of Busan**

3F, 174 Suyoung ro, Nam gu, Busan, 48460, Republic of Korea  
Tel: 82-51-643-5571 Fax: 82-51-643-5572

**International Buddhist Congregation (IBC)**

Fumon Media Center 3F, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo, Japan

Tel: 81-3-5341-1230 Fax: 81-3-5341-1224

*e-mail:* ibcrk@kosei-kai.or.jp <http://www.ibrk-rk.org/>

**Branches under the Headquarters****Rissho Kosei-kai of Hong Kong**

Flat D, 5/F, Kiu Hing Mansion, 14 King's Road,  
North Point, Hong Kong, Republic of China

**Rissho Kosei-kai of Ulaanbaatar**

15F Express tower, Peace avenue, khoroo-1, Chingeltei district,  
Ulaanbaatar 15160, Mongolia

Tel: 976-70006960 *e-mail:* rkkmongolia@yahoo.co.jp

**Rissho Kosei-kai of Sakhalin**

4 Gruzinski Alley, Yuzhno-Sakhalinsk  
693005, Russian Federation

Tel & Fax: 7-4242-77-05-14

**Rissho Kosei-kai Friends in Shanghai****Rissho Kosei-kai of South Asia Division**

201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang  
Bangkok 10310, Thailand

Tel: 66-2-716-8141 Fax: 66-2-716-8218

**Rissho Kosei-kai International of South Asia (RKISA)**

201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang  
Bangkok 10310, Thailand

Tel: 66-2-716-8141 Fax: 66-2-716-8218

*e-mail:* thairissho@csloxinfo.com

**Branches under the South Asia Division****Rissho Kosei-kai of Delhi**

77 Basement D.D.A. Site No. 1, New Rajinder Nagar,  
New Delhi 110060, India

**Rissho Kosei-kai of Kolkata**

E-243 B. P. Township, P. O. Panchasayar, Kolkata 700094,  
West Bengal, India

**Rissho Kosei-kai of Kolkata North**

AE/D/12 Arjunpur East, Teghoria, Kolkata 700059,  
West Bengal, India

**Rissho Kosei-kai of Bodhgaya**

Ambedkar Nagar, West Police Line Road  
Rumpur, Gaya-823001, Bihar, India

**Rissho Kosei-kai of Kathmandu**

Ward No. 3, Jhamsilhel, Sancepa-1, Lalitpur, Kathmandu,  
Nepal

**Rissho Kosei-kai of Phnom Penh**

#201E2, St 128, Sangkat Mittapheap, Khan 7 Makara,  
Phnom Penh, Cambodia

**Rissho Kosei-kai of Patna****Rissho Kosei-kai of Singapore****Thai Rissho Friendship Foundation**

201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang  
Bangkok 10310, Thailand

Tel: 66-2-716-8141 Fax: 66-2-716-8218

*e-mail:* info.thairissho@gmail.com

**Rissho Kosei-kai of Bangladesh**

85/A Chanmari Road, Lalkhan Bazar, Chittagong, Bangladesh

Tel & Fax: 880-31-626575

**Rissho Kosei-kai of Dhaka**

House#408/8, Road#7(West), D.O.H.S Baridhara,  
Dhaka Cant.-1206, Bangladesh

Tel & Fax: 880-2-8413855

**Rissho Kosei-kai of Mayani**

Mayani(Barua Para), Post Office: Abutorab, Police Station:  
Mirshari, District: Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai of Patiya**

Patiya, sadar, Patiya, Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai of Domdama**

Domdama, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai of Cox's Bazar**

Ume Burmese Market, Main Road Teck Para, Cox'sbazar,  
Bangladesh

**Rissho Kosei-kai of Satbaria**

Satbaria, Hajirpara, Chandanish, Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai of Laksham**

Dupchar (West Para), Bhora Jatgat pur, Laksham, Comilla,  
Bangladesh

**Rissho Kosei-kai of Raozan**

West Raozan, Ramjan Ali Hat, Raozan, Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai of Chendirpuni**

Chendirpuni, Adhunagor, Lohagara, Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai of Ramu****Rissho Kosei Dhamma Foundation, Sri Lanka**

No. 628-A, Station Road, Hunupitiya, Wattala, Sri Lanka

Tel: 94-11-2982406 Fax: 94-11-2982405

**Rissho Kosei-kai of Habarana**

151, Damulla Road, Habarana, Sri Lanka

**Rissho Kosei-kai of Polonnaruwa****Branches under the Headquarters****Rissho Kosei-kai di Roma**

Via Torino, 29-00184 Roma, Italia

Tel & Fax: 39-06-48913949 *e-mail:* roma@rk-euro.org

**Rissho Kosei-kai of the UK****Rissho Kosei-kai of Venezia****Rissho Kosei-kai of Paris**